

令和7年度

個別学力検査等(後期日程)

【 人間学群 心理学類 】

| 区 分    | 出 題 意 図 ・ 正 解 例  |
|--------|--|
| 「論述」問題 | <p>1. 問題文の選定・出題理由</p> <p>本論述では、集団討論に参加している状況を想定し、様々な可能性が考えられるテーマを提示した場面での仮想討論として、異なる観点からの意見に対する応答を筆記回答させることで、受験生の①応答性、②論理性、③協同性の3つの観点について評価するものとした。</p> <p>①応答性：他者からなされた質問を理解し、適切に回答する能力等に現れる、他者とのコミュニケーション能力を、応答性として評価する。</p> <p>②論理性：論理的に思考し、発言する能力等に現れる、自身の考え・意見に整合性・合理性・論旨の一貫性を持たせる能力を、論理性として評価する。</p> <p>③協同性：自分の発言が他者にどう受け止められるかを推測する他者理解、他者の考えに対して建設的な発言を行うセルフアサーション能力等に表れる、他者と話し合うことでお互いの思いや考えなどを共有して、共通の目的を実現するために協力しながら課題を遂行していく能力を、協同性として評価する。</p> <p>2. 採点要領</p> <p>(1) 解答時間は60分。</p> <p>(2) 問題は全部で3問ある。筆記回答により①応答性、②論理性、③協同性を問う問題である。</p> <p>(3) 各問の問題文は以下に示す通りである。</p> <p>あなたは、心理学類の入試の集団討論に参加しているとします。以下の文章を読んで、次の問1から問3に答えなさい。</p> <p>集団討論に参加している他の受験生から、「日本人は他国に比べて主観的幸福感の平均点が低いので、他の国の社会や経済の在り方を参考にすべきである」という発言がありました。それに対して別の受験生から、「社会や経済の在り方だけが、日本人と他国の主観的幸福感の違いの原因ではないと思う」という意見がありました。</p> <p>問1 この場面であなたはどのように発言しますか。</p> <p>問2 あなたの発言に対して反対する意見があるとすれば、それはどのような意見だと思いますか。</p> <p>問3 問2のような意見に対して、あなたはどのように発言しますか。</p> |